

軽い！使いやすい！は当たり前

“人に寄り添う”を追求 音の老舗の挑戦！

ヘッドホンを単なる機器から、暮らしに寄り添う“パートナー”へ。
「Sound Fit Partner」を新たなキャッチコピーに据えたヘッドホンづくりをはじめたマクセル。
“音”のある暮らしがもっと豊かになる完全ワイヤレス「MXH-BTW510」を見逃すな！

完全ワイヤレスイヤホン

文／山本 敦 Atsushi Yamamoto

Maxell MXH-BTW 510

¥OPEN ▶投票 No.000

手のひらにすっぽり！
約24gの
小型充電ケース



SPEC ●通信方式:Bluetooth
標準規格Ver5.0 ●対応コーデック:SBC, aptX ●連続再生
時間:最大約7時間(充電ケー
ス込み最大約21時間) ●質量
:約4g(イヤホン部)、約24g(充
電ケース) ●付属品:イヤーチ
ップ(S/M/L)、USB Micro-B
充電用ケーブル ほか

力強い音がさまざまなシーンをサポート

ワイヤレスイヤホンは音楽リスニングにとどまらず、オンライン会議やハンズフリー通話などビジネス用途から、健康維持・増進のためにスポーツを楽しむ時間にも広く活用されるデバイスになった。“Sound Fit Partner＝さまざまな生活シーンに音から寄り添うパートナー”として、マクセルが強い思いを込めて開発したイヤホンの第1弾モデルが誕生した。

片耳約4gのイヤホンは身に付けていることを忘れそうになるほど軽く、装着感も心地よい。約24gの充電ケースは片手に軽々と収まる。いま巷にある完全ワイヤレスイヤホンの中でもとりわけ軽快なサイズ感なのに、イヤホン単体で約7時間、ケースを合わせると約21時

間までの連続再生に対応する充実のスタミナを実現した。このこだわりがモバイルバッテリーのスペシャリストでもあるマクセルらしい。

力強く、明瞭なサウンドがユーザーのさまざまな生活シーンをサポートする。音楽再生はボーカルの自然な再現性が特徴。楽器の旋律とスムーズにつながり、音場の見晴らしもクリアだ。

クアルコムのSoCを搭載し、高感度なアンテナ設計としたことでノイズや音切れがとてもしない。ハンズフリー通話品質が常に安定しているのでビジネスツールとしても信頼できる。本体はIPX5の防水設計。エネルギーギッシュなサウンドがスポーツシーンにとてもよくフィットした。マクセルの新定番シリーズから目が離せなくなりそうだ。

Detail



シボ加工

取り出しやすさにもこだわる

本体片耳4g、充電ケース約24gの軽量設計はもちろん、使い勝手にもこだわるのが新生マクセル。イヤホン本体の先端にシボ加工(細かな模様、凹凸)を施し、ケースから本体を取り出しやすいように工夫している。使いやすいさへの工夫はさすが日本ブランド、マクセル。

Sound Fit Partner

暮らしに寄り添うヘッドホンづくり

音楽鑑賞だけでなく、通勤、勉強、テレワークなど、ヘッドホンを使用するシーンがますます広がりにつつある昨今。マクセルはそんなライフスタイルの変化をにらみ、新キャッチコピー「Sound Fit Partner」のもと、「音のある暮らしをもっと快適に、そして、着けていることを忘れられるようなヘッドホンづくり」を推進していくことを発表。新生マクセルの挑戦に注目！